

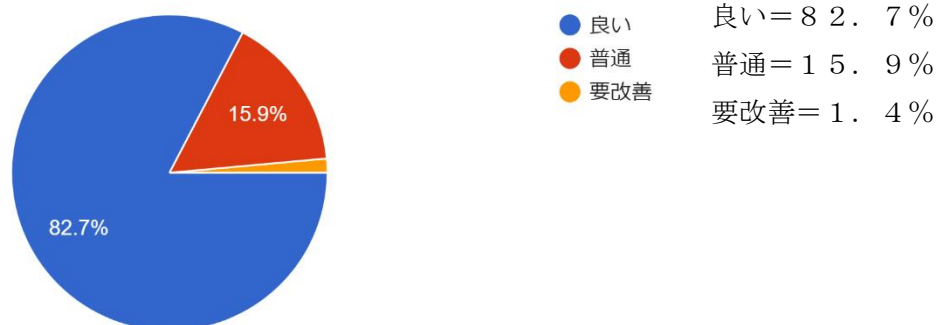
全連小島根大会オンライン・オンデマンド参加者アンケート集計結果（最終結果）

記載者 362 件（令和4年11月8日現在）

1. 開会式・全体会・閉会式について（277件の回答、内、自由記述回答は89件）

（ア） 開会式・全体会・閉会式について

277 件の回答



（イ） 意見【成果】

- ・ 文部科学省からの講話は、これからの学校教育に大変参考になった。
- ・ 初めて全国大会の様子を見ることができ、大変勉強になった。
- ・ 閉会式での三賀森校長先生の挨拶がとても印象に残りました。原稿も見ずによどみなくお話しされる姿に、島根県の方々の熱い思いを感じ、心が熱くなりました。
- ・ ストレスなく視聴できた。今後もこの形での式典運営は負担軽減につながり、主流になればと思う。
- ・ 毎年、文科省の講話はオンデマンドで配信してほしい。
- ・ 文科省講話の中で、特に幼稚園と小学校の接続については学ぶところが多かった。
- ・ オンデマンドであったため、繰り返し再生して視聴した。
- ・ 当日学校行事があり、オンデマンド配信をしていただき大変助かった。
- ・ 会場で参加しているかのような臨場感があった。
- ・ 必要最低限の挨拶で、短くて良かった。
- ・ 令和の日本型学校教育、GIGA 構想、働き方改革、人材育成の観点で、これまで以上に深くとらえることができ、整理することができた。
- ・ 途中もう一度聞き返したいことも戻って聞くことができた。
- ・ オンデマンド配信は、自分で時間を決めて視聴できたので助かった。
- ・ 配信の形だったので、参加者だけが感じ、知るだけだった大会の様子を全国の会員に広げることができたと思う。大会の雰囲気を知ることができた。
- ・ 全国の会員との一体感を感じることができた。
- ・ 大会の趣旨説明が丁寧だった。
- ・ 資料は必要に応じて繰り返し確認できた。
- ・ 次回の東京大会の PR 動画のすばらしさに驚いた。

など…

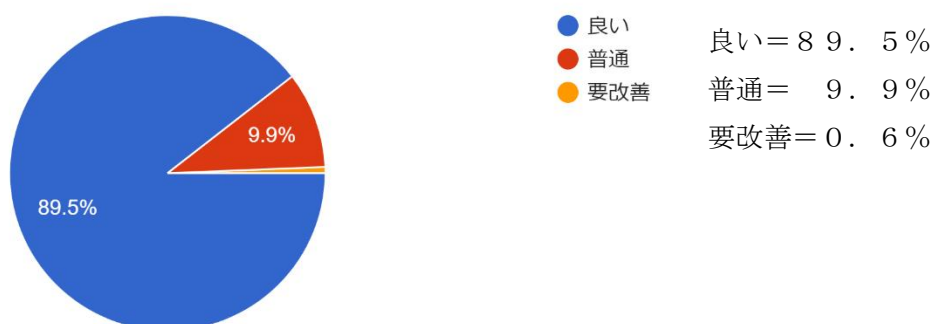
(ウ) 意見【課題】

- ・ 祝辞の時、ハウリングしていた。やや聞きづらかった。
 - ・ 文科省の資料が事前にいただけると説明がより分かりやすいと思った。
 - ・ 文科省講話は、もう少し詳しく聞きたい部分もあったので、テーマを絞ってもよかった。
 - ・ 文科省講話は、スライドの文字が見にくかったのが残念だった。
 - ・ オンラインによる煩わしさを感じた。特に、音声・照明・カメラ位置など。
 - ・ 今後オンラインということであれば、1カ所からの配信とした方が更にスムーズになると感じた。
- など…

2. 研究発表について（314件の回答、内、自由記述回答は151件）

(ア) 研究発表について

314件の回答



(イ) 意見【成果】

- ・ 校長としての課題は共通しているので、このような紙面やオンラインでよい。
- ・ 研究発表の成果を、今後の学校運営に生かしていきたい。
- ・ 第4分科会 校長のリーダーシップ、カリキュラム・マネジメントの重要性を感じた。「夢を語る会」は、これこそ教職員の「主体的・対話的で深い学び」だと感じた。
- ・ 第4分科会 ベテランの経験や知見を活かしながら育成を図っていくこと、夢をキーワードに意欲をもって研究に取り組んでおられることが素晴らしい。
- ・ 第8分科会 人材育成について、新任校長として大いに参考にさせていただいた。
- ・ オンデマンドであったため、興味のある色々な分科会の研究発表を視聴することができた。
- ・ 興味関心があることを繰り返し視聴できる点がよかった。
- ・ オンデマンドだと、時間のやりくりが可能でありがたい。
- ・ 一緒に参加しているような一体感を感じた。
- ・ 第5分科会 ベクトルを揃えて、組織的に協働的な学びへの改革に取り組んでいる事例がとてもよい。
- ・ 第11分科会 キャリア教育をコミュニティ・スクールや小中一貫教育の中で推進していく研究が参考になった。
- ・ それぞれの発表で、今抱えている問題点や今後私たちが取り組むべき方向性が示されていた。
- ・ しっかり聞き考えるには、オンデマンドの方が良いと思う。

- ・防災教育・安全教育を推進する上で、他人事でなく自分事として考えられる児童の育成、教職員の危機管理意識の向上、管理職としての日々の実践の大切さを改めて考えさせられた。
- ・危機管理に関して、学校・家庭・地域が連携した対応システムを構築していかなければならない仕組みであると認識した。
- ・新たな学びを得ることができた。
- ・ビジョンを明確化し、職員と共有することの大切さを学んだ。
- ・他地域の状況を知る上で、貴重な機会となった。
- ・校長からのトップダウンも必要だが、児童や教職員等と作り上げる学校経営ビジョンが素晴らしかった。
- ・誌上発表では伝わらない校長先生方の熱意とご苦勞が画面越しに分かった。
- ・社会との連携・協働についての具体的な実践や、校長の役割について学ぶことができた。
- ・やる気と元気を充電させていただいた。
- ・個人研究だけでなく、校長会等での取り組みが紹介され、つながることの大切さ・意義を強く感じた。
- ・質疑応答やグループ協議の発表を聞くと、内容への理解が深まった。
- ・事前に要録を拝見してからだだったので、視点をもって研究発表に臨むことができた。誌上開催よりも分かりやすかった。
- ・今後も、参集及びライブ配信やオンデマンド配信のハイブリッド型で開催していただけると、全国の校長先生方にとってはありがたいと思う。
- ・各発表が大変参考になった。今後の学校での取り組みにいかしたい。
- ・成功している取り組みは、関わる教職員・学校・家庭・地域・児童などが、進むべき方向性を共有し、しっかりとした組織・計画で進んでいるものだと思います。
- ・第13分科会 校長が教職員をけん引していくことの大切さを再確認した。
- ・道德教育をカリキュラムマネジメントの視点からアプローチした実践が興味深かった。
- ・グループ協議の要旨報告もオンデマンド配信してくださり、全国大会での意見交流の様子がよく伝わった。

など…

(ウ) 意見【課題】

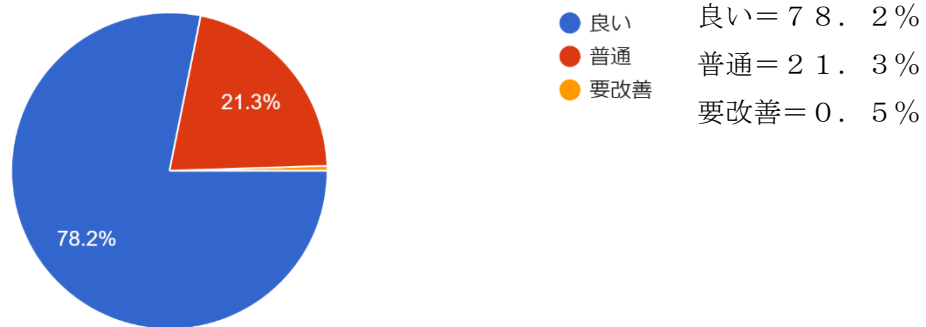
- ・画面上のパワーポイントが小さくて、読みにくかった。資料がダウンロードできるようになっているとありがたい。
- ・発表資料をPDF等で添付していただけると嬉しい。
- ・領域、分科会と発表内容の整合性が感じ取れないものもあったのではないかな。
- ・色々な分科会の発表を視聴できたのはよかったが、反面、直接会っての意見交換の大切さも感じた。
- ・研究発表については、同じ場で意見交換した方が当事者意識が高まると思う。
- ・時間の制限があり、分科会のグループ発表までしか視聴できず残念だった。
- ・コロナ対応で仕方ないと思うが、その場でグループ討議することがやはりよい。

など…

3. シンポジストによる鼎談について（197件の回答、内、自由記述回答は64件）

（ア） シンポジストによる鼎談について

197件の回答



（イ） 意見【成果】

- ・ 教職員でない、地元の3名の対談は、校長の視点とは違う観点があり、聴きごたえがあった。
- ・ 「豊かさ」「よりよく生きること」「学びの本質」について、じっくり考えることができた。
- ・ 新しい形でのシンポジウムで、話の内容が入りやすかった。
- ・ ふるさと島根、未来等、幅広い話題で、楽しく拝聴した。
- ・ 私たちの仕事に通じる部分がたくさんあった。
- ・ 今後の学校教育、学校経営に求められる大切なポイントがたくさんあった。
- ・ 県、市、学区でも、このような鼎談ができるといい。話に参加したくなった。
- ・ 子ども達にどのような力を育ていかねばならないか考えさせられた。
- ・ 早速、職員と情報共有したい。
- ・ ふるさとを好きになれるよう、地域に開かれた学校を目指したい。
- ・ 小泉様がおっしゃっていた「IからWe」他人事から自分たち事にかかわるように、豊かな未来社会を創る子どもを育成していきます。
- ・ 「オープンマインド」「真」「創造・想像」「好奇心」等についての話を興味深く視聴させていただきました。
- ・ オンデマンド配信なので、自分の予定した時間で視聴でき、助かった。
- ・ 今後の学校経営の参考にしたい。
- ・ 場の雰囲気がとても良い。テレビ番組を見ているようだった。
- ・ ふるさとの良さを改めて考えるきっかけとなった。
- ・ 豊田さんが言われた、シャケが戻ってくる川をつくる、という言葉が心に響いた。
- ・ 様々な立場の方々の、ふるさとを起点とした未来社会への創造という視点でのお話を興味深く聞かせていただきました。
- ・ 司会を立てずに直接話し合うスタイルは、ネット配信であっても臨場感が増すと感じた。
- ・ 改めて郷土（国）に誇りが持てる子どもを育てたいと感じた。
- ・ シンポジストの発言に共感できることが多くあった。
- ・ 教育について視点を変えて考え、ふるさとについて考えるよい機会を得られた。

など…

(ウ) 意見【課題】

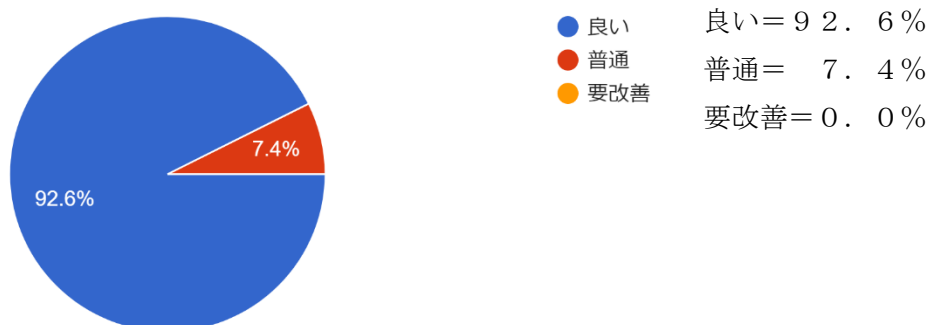
- ・言わんとしていることは分かり参考になる部分もあったが、強いて言えば、もう少し時間を短くしてほしい。
- ・やや時間が長かったが、勉強になった。
- ・テーマを昨今の教育課題に関係するもの（例えば「コロナ禍における教育の在り方」等）であれば良かったと思う。

など…

4. 大会運営全般について（339件の回答、内、自由記述回答は131件）

(ア) 大会運営全般について

339件の回答



(イ) 意見【成果】

- ・大会資料の全会員への配布、配信による会の参加という形は、結果的に全ての校長に対し平等に内容を伝えられる本当に良い方法であったと感じている。
- ・なかなか参加できない全国の校長先生方に、そのチャンスを与えてくれた。
- ・このような形での実施は、今後のスタンダードになればと思う。
- ・本当に良い学びの機会となった。
- ・今後もオンデマンド配信を取り入れ、多くの方が視聴できることを望みます。
- ・判断が難しい中、実施していただきありがとうございました。
- ・島根と東京を繋ぐといった発想は素晴らしいと感じた。この形もよい。
- ・オンデマンド配信の期間も適切でよかった。
- ・今後の運営の試金石となった。
- ・自身の都合に合わせて参加でき、ありがたいと思った。
- ・遠距離を移動することなく全国大会に参加できることはありがたい。
- ・全国の校長が研修できる機会となったことは画期的。
- ・今後の大会も、オンラインをフル活用して進めていくことが、大会役員の負担軽減になる。
- ・校長としての意識が高まった。
- ・大会要録の内容が充実していた。繰り返し学ぶことができ、困難な環境から新たな動きを生み出す力に感動した。
- ・オンデマンド配信は、どの分科会も見ることができ良かったと思う。

- ・大会要録が事前配布されたことに感謝。
- ・参集にこだわる方もいますが、私は、今回の方式はとても素晴らしい形式だと思っています。神奈川から島根に参加するとなると、2泊3日学校を留守にしなければならない。旅費の関係から、夜行バスしか認められない状況。行くことに負担感があったので、本当に助かった。
- ・全国の会員が学べるので、このような形での大会運営もよい。
- ・島根に行くことはできなかったが、島根大会を十分に味わうことができた。
- ・全校長に学びの機会を与えてくれて感謝。
- ・全国に同じ仲間がいることを感じ、エネルギーをいただいた。島根県にぜひ行きたい。
- ・島根と東京2会場に分ける等、大いに工夫いただいたことに敬意を表します。

など…

☆他、感謝やねぎらいのメッセージが多数。

(ウ) 意見【課題】

- ・とても立派な要録でびっくりした。データ配信も今後検討していくといいと思う。
- ・できれば、全国の方々が、事情に応じて会場に行くか、オンライン・オンデマンドを希望するかを選択できるハイブリッド方式が望ましいと考える。
- ・資料がもう少し早く届くとさらに良かったと思います。
- ・やはり、島根に参集して開催してほしかった。

など…

5. その他の意見（118件の回答）

- ・今回の島根大会の成果を、次にもぜひ生かしていただきたい。
- ・数多くの困難の中、企画・運営ありがとうございました。
- ・校務が忙しい中、本当にありがとうございました。
- ・アンケートの問1は、複数回答できる設定にしていきたい。
- ・画面越しでは臨場感や緊張感を感じることができず、できれば参集の形が良いと思った。
- ・ライブでは、850人程度の参加であったと思っています。
- ・島根にぜひ足を運びたいと思った。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から見れば、本大会の運営でよかった。全国から会員が一堂に会することは、今の状況下では難しいと思う。
- ・冊子のデータ化をして予算減も含め、全連小負担金額の検討をしていただきたい。
- ・今回の取組はとてもありがたく、今後も継続をお願いしたい。
- ・島根を旅の目的地にしたい。
- ・オンラインとオンデマンドを組み合わせるのは、とてもありがたい。
- ・最後まで、参集開催の基本線でいってほしかった。世の中や外国からの旅行者も解禁となる中、全国の校長が集まる機会が失われたことを残念に思った。来年は、参集を前提とした大会運営を期待します。
- ・勉強したい部会が複数あるので、配信期間がもう少し長いとありがたい。
- ・大会資料をいただくだけでもありがたいのに、オンデマンド配信までしていただき、感謝いたします。

- ・せめて、一人で視聴するのではなく、県で集まって視聴し、意見交換したかった。
- ・今後も学びを止めないよう、頑張っていきましょう！

など…

☆他、感謝やねぎらいのメッセージが多数

参考資料：YouTube 視聴回数

項 目	視聴回数 (回)
開会式～全体会	1 5 9 2
鼎 談	1 4 7 7
第 1 分科会 (経営ビジョン)	8 3 2
第 2 分科会 (組織・運営)	4 3 7
第 3 分科会 (評価・改善)	3 0 3
第 4 分科会 (知性・創造性)	2 6 7
第 5 分科会 (豊かな人間性)	2 9 3
第 6 分科会 (健やかな体)	2 1 4
第 7 分科会 (研究・研修)	2 4 9
第 8 分科会 (リーダー育成)	2 6 1
第 9 分科会 (学校安全)	2 0 9
第 10 分科会 (危機対応)	2 4 5
第 11 分科会 (社会形成能力)	1 8 4
第 12 分科会 (自立と共生)	2 1 8
第 13 分科会 (社会との連携・協働)	2 6 6
閉会式	3 7 4